



主に年配の男性を襲う肺炎 レジオネラ症にご注意！

平成 30 年 8 月 22 日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

早期発見・
早期治療

感染症発生動向速報

(平成 30 年第 33 週分・8 月 13 日～8 月 19 日)

《 インフォメーション 》

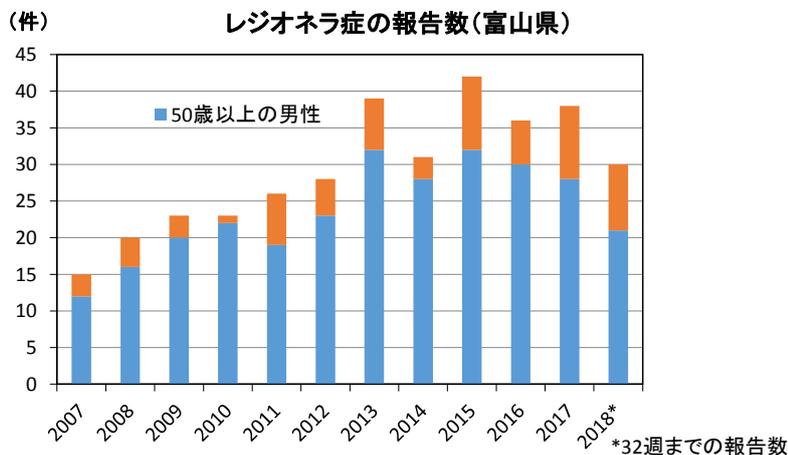
●レジオネラ症

レジオネラ症の県内の報告数は、近年 30～40 件で推移していますが、今年には既に 30 件報告されています。(8 月 20 日現在)

レジオネラ症は、レジオネラ属菌による感染症です。浴用施設やクーラーの冷却塔、加湿器等の水を利用する設備で衛生管理が不十分な場合、レジオネラ属菌が増殖しやすくなります。人は、菌を含んだ水しぶきを吸い込むことで感染します。

レジオネラ症は、発熱を主症状とし、肺炎症状がみられないポンティアック熱と劇症型のレジオネラ肺炎の二つに分類されます。レジオネラ肺炎は、全身倦怠感、咳、高熱、悪寒、胸痛等の症状に加え、消化器症状や中枢神経系の症状が現れます。有効な抗菌薬治療がなされないと、致死率は 60～70%にもなりますが、適切な治療がなされれば致死率は 5～10%となります。

患者の年齢・性別には偏りがあり、県内では 50 歳以上の男性が患者全体の約 8 割を占めています(図参照)。レジオネラ症は、**早期に診断して適切な治療を開始することが重要**です。上記のような症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 2件 (①第 32 週診断分：80 歳代、女性 ②90 歳代、女性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件 (①30 歳代、女性、O157、VT1VT2
②70 歳代、男性、O157、VT1)

五類感染症 急性脳炎 1件 (10 歳未満、男性)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (80 歳代、女性、A 群)

梅毒 1件 (第 32 週診断分：40 歳代、男性、早期顕症梅毒 I 期)

百日咳 1件 (10 歳未満、男性)

風しん 1件 (40 歳代、男性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	4.07	4.24	↓
2 位	ヘルパンギーナ	1.21	1.41	↓
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.03	0.69	↑
4 位	R S ウイルス感染症	0.59	0.45	↑
5 位	咽頭結膜熱	0.55	0.34	↑
6 位	突発性発しん	0.34	0.55	↓

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第33週 平成30年8月13日～平成30年8月19日）

分類	疾患	今週報告分（第33週）					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核					1	1	9	11	37	14	69	140	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1		1	2	3	3	3	2	11	22	
四類感染症	E型肝炎							1					1	
	A型肝炎											3	3	
	つつが虫病											1	1	
	レジオネラ症							1	1	5	3	20	30	
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									3		7	10	
	急性弛緩性麻痺										1		1	
	急性脳炎	1					1	2			1	1	4	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1				1	4	1	5	2	3	15	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1		1	4	
	侵襲性肺炎球菌感染症							2	2	6	4	13	27	
	水痘（入院例）							1		1		2	4	
	梅毒									1		7	8	
	播種性クリプトコックス症											3	3	
	百日咳				1		1					1	4	5
	風しん					1	1					1	1	2
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							2,232	1,824	3,485	2,442	5,346	15,329
RSウイルス感染症				4		13	17	37	20	70	24	268	419	
咽頭結膜熱		6	1	4	1	4	16	186	65	242	26	273	792	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5		9	1	15	30	140	93	478	208	637	1,556	
感染性胃腸炎		19	20	33	1	45	118	896	641	1,021	203	2,337	5,098	
水痘						2	2	17	5	88	49	90	249	
手足口病		1		2		2	5	4	11	35	14	110	174	
伝染性紅斑					1	1	2	3	1	84	44	32	164	
突発性発しん		2	1	3	1	3	10	48	36	149	40	116	389	
ヘルパンギーナ		3	3	11	6	12	35	17	30	59	19	61	186	
流行性耳下腺炎								3	6	16	3	32	60	
急性出血性結膜炎											14		14	
流行性角結膜炎			1				1	2	13	9	4	5	33	
細菌性髄膜炎												5	5	
無菌性髄膜炎												1	1	
マイコプラズマ肺炎								2	3	5	5	7	22	
クラミジア肺炎											1	2	3	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								3		4	2	7	16	
インフルエンザによる入院患者（*）								51	55	39	150	96	391	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。